

小さい子にも生演奏を体感してもらうコンサート

7月5日(日)に2階 MORI×MORI ホールで「七夕ファミリーコンサート」を開催しました。一般的なオーケストラコンサートでは、音をたてないのがマナーとされており、小さいお子さんが鑑賞するのはハードルが高いものになっています。成田ジュニアストリングオーケストラ&アンサンブル NOW 協力のもと、声を出しても大丈夫、途中退席しても大丈夫な小さなお子さんでも楽しめるようなコンサートになりました。

第1部では、「知る」をテーマに指揮の振り方や拍子、楽器によって出せる音域が違うということなどを学びながら、演奏に耳を傾けました。

第2部では、抽選で選ばれた3名がステージ側に招かれ、ヴァイオリンを実際に触ってみました。最後には成田ジュニアストリングオーケストラ&アンサンブル NOW と一緒に演奏する場面も見られました。この他、となりのトトロより「さんぽ」、アナと雪の女王より「Let it go」など耳なじみのある曲の演奏も行われました。

第3部では、希望者がヴァイオリンやチェロに触れられる場が設けられ、どの楽器も並ぶほど関心の高さをうかがえます。団員が持ち方・弓の使い方・弦の押さえ方などを優しく指導しており、音が綺麗に出た時の参加者の笑顔がとても輝いていました。



オリジナルデザインの小物が簡単に作れる



6月27日(土)3階工芸スタジオでは「デコパージュで My バッグを作ろう!」が行われ、15名が参加して世界にひとつだけのバッグを作り上げました。デコパージュとは、紙やペーパーナブキンなどを切り抜いて小物に貼り付けて専用液でコーティングする技法です。今回は戸井康子さんに講師をお願いし、ジュードバッグに貼り付けを行いました。一人一人の個性が出るオリジナリティあふれるものが出来上がりました。

専用液は100円ショップでも販売されており気軽に始めることができ、参加者からは「新しい趣味が出来て嬉しい!」や「お気に入りのバッグが出来た!」などの喜びの声が聞こえました。

この日は、メドレーやソロ、アンコールを含め全18曲が演奏され、公演中は昭和にタイムスリップしたようでした。

昭和歌謡の独特の世界観を満喫



8月6日(木)MORI×MORI ホールで「昭和歌謡コンサート」を開催しました。

もりんぴあこうづでの開催も4回目となった昭和歌謡コンサート。今回もチケットは前売りの段階で完売となる盛況ぶりを見せました。

ピアノ 細貝悠さん、ヴァイオリン 武田圭司さんの伴奏に、テノール 江上怜那さん、ポップス 江上遥さんの歌声がのり、昭和の名曲がホールに響き渡りました。

曲紹介の際には談話やエピソードトークも交えており、観客

は日常を忘れて、楽しんでいるように見えました。

この日は、メドレーやソロ、アンコールを含め全18曲が演奏され、公演中は昭和にタイムスリップしたようでした。

夏休み中のこどもたちが工作体験

7月23日(木)、3階工芸スタジオで「ワクワク☆アートパークスカイスクリーをやって飛ばそう!」を開催しました。

当施設 副館長が指導のもと、帆となる紙に思い思い好きな絵を描き、主軸となる木に取り付け、先端にはプロペラを取りつけます。動力となるゴムを取りつけたら完成です。

当初は完成品を大作台公園で飛ばす予定でしたが、熱中症



警戒アラートが発表されていたため、場所をホールへ変更し、飛行テストを行いました。

ゴムを巻く回数、手を放す時の角度により飛行距離、時間が変化するのを確認しました。それぞれの出来栄にどの子もとても満足気でした。

ホールでグランドピアノを弾く

6月15日(月)、MORI×MORI ホールでは、「グランドピアノ一般開放」が行われ、6組7名がホールで演奏を行いました。住居の広さや騒音問題、費用などの面からグランドピアノが自宅にある方は少なく、ピアノを習っているグランドピアノに触れる機会は少ないのではないのでしょうか。

県民の日特別事業として、ホールにあるグランドピアノで自由に演奏できる機会を設けました。

今年の県民の日は平日にもかかわらず、事前申込はすぐにいっぱいになってしまいました。参加者は1時間と限られた時間ではありますが、充実した時間を過ごせたようです。



図書館だより

なつやすみおはなしかい

8月4日に杜のなつやすみおはなしかいを開催しました。2階のホールで、大型絵本やおはなしを楽しんでいただき、おみやげに、だるまちゃんとかみなりちゃんの手作りペンダントをプレゼントしました。

＊当日のプログラム＊

- ①『ぞうくんのさんぽ』なかのひろたか／さくえ 福音館書店
②『ぺんぎんたいそう』齋藤槇／さく 福音館書店 ③『だるまちゃんとかみなりちゃん』加古里子／さくえ 福音館書店 ④ミ
アッカどん『イギリスとアイルランドの昔話』福音館書店 より
杜のおはなしかい

図書館公津の杜分館では、毎月2回(主に第2・第4火曜日)おはなしかいを開いています。時間は午後3時から約30分、おはなし室で3歳から小学生までのお子さん向けに絵本の読み聞かせをしています。おはなしかいカードにスタンプを集めると記念品がもらえます。どうぞお気軽にご参加ください。



学習室の空き状況を外から確認

成田市子ども未来政策委員会の提案事業により、成田市の公式 LINE を利用して学習室の空き状況を施設外から確認出来るようになりました。成田市子ども未来政策委員会は高校生から24歳以下の方が市へ事業の提案を行う取り組みです。受付時にひと手間加わり、お不便をおかけいたしますが、ご協力いただきますよう、お願いいたします。



ニュースと災害報道の舞台裏

6月14日(日)、会議室では、テレビ朝日広報局の久慈省平さんをお招きして、「テレビニュースと災害報道の舞台裏」というテーマで講座を開きました。40名が参加し、災害発生から報道番組ができるまでの仕事内容や取材の仕組みなどを学んだほか、東日本大震災と能登半島地震を比較して、災害報道の進化についても学びました。



なかよしひろばだより

「あそびのひろば」を開催しました

8月2日(日)に MORI×MORI ホールで「あそびのひろば」を開催しました。

午前は0歳～未就学児向けに、ボールコロコロ、木のおもちゃ、手作りおもちゃ、わにわにぼこぼこ、トンネル、お魚釣りなどのあそびのコーナーをつくり、61組の親子が遊びに来てくれました。また、利用者ママたちの工作チーム「チョコペタ隊」が手掛けたお面コーナーが今年も人気でした！小学生ボランティアも参加し、「わにわにぼこぼこ」では、わにを出すスピードや回数など、子ども同士で調整しながら楽しんでいる姿が印象的でした。午前の最後の「エビカニクス」のダンスでは、スタッフと参加者親子で踊ったり、手拍子したりして盛り上がりしました。

午後は赤ちゃんの時間で18組の親子が参加。ハイハイレースを楽しみにしていた親子がレースに参加し、可愛い赤ちゃんを皆で応援しました。また、ふれあい遊びも親子で楽しみました。お友達同士でゆっくりおしゃべりをしながら、おもちゃに触れて遊んだり、フォトコーナーで写真を撮ったり。夏の思い出の1ページになった様でした。



おまけの1枚

公津の杜小学校より間引いた朝顔の苗をわけていただきました。朝顔は夏の花としてイメージする方も多く、小学生の頃、夏休みに育てた経験があるのではないのでしょうか。図書館前の花壇に張ったネットに絡みついた蔓はまるでグリーンカーテンのようで、歩行者の目をひきました。



編集後記

聖地巡礼で鋸南町の道の駅保田小学校を訪れた。廃校を活用した観光施設でとても賑わっており、ちょうど総務大臣も視察に来ていた。各自治体で様々な学校跡地利用を行っており、独自性をもった面白い施設もたくさんある。学校跡地巡りも楽しいかもしれない。(K)

絶！四国旅行。香川の高松空港着、即、讃岐うどんを食し、高知の絶景スポット足摺岬へGo！翌日は四万十川の遊覧船を満喫。最終日には、桂浜を探索し、坂本龍馬像に合掌。ここまで最高の旅が、試練の旅へと変貌。成田行きの便が超悪天候によりまさかの欠航で足止め。その日帰れず…(笑)(T)

公津の杜コミュニティセンター

(指定管理者 アクティオ株式会社)

発行人: 竹尾 裕之 編集: 鹿嶋 聡明

〒286-0048 千葉県成田市公津の杜4丁目8番地

TEL: 0476-27-5252 FAX: 0476-27-5353

E-mail: info-kozu@morinpiakozu.jp HP: <https://morinpiakozu.jp/>

もりんぴあ
こうづ
Morinpia Kozu